

## 佐倉市国際文化大学 講演レジメ

山本良一

1. 私たちは完新世 (Holocene) から人間世 (Anthropocene) へ地質年代名を変更すべきではないか (Paul Crutzen)  
人類は既に陸地表面の43%を支配している
2. 現代をどのように把握するかについては2つある  
Paul Crutzen 完新世 (Holocene epoch) から人間世 (Anthropocene epoch) へ、人類の惑星管理責任を自覚して行動する  
Thomas Berry 新世代 (Cenozoic era) からエコ世代 (Ecozoic era) へ地球限界を自覚して、地球生命圏と共存可能なエコ文明へ転換する
3. “地球温暖化”は地獄のような苦しみを与える (温暖化地獄)
  - a. IPCC第5次報告書の主要な結果
  - b. 2°Cターゲットはどのような理由で決定されたか
  - c. CO<sub>2</sub>濃度400ppmに達すると2°C突破の確率が50%を超える可能性がある。2014年に多くの場所で400ppmを突破。
  - d. 2°Cターゲットを守るためには年率6.2%で世界のCO<sub>2</sub>排出量の削減が必要 (PWC報告書)、これは容易ならざる削減目標である。
  - e. このままでは、あと数十年で2°Cを突破されてしまう (温暖化地獄は目前)
  - f. 1°Cターゲット、1.5°Cターゲットを守るのはもはや不可能  
2°Cターゲット達成はきわめて困難というのが現状である
  - g. これまで日本政府は科学的知見に基いて気候政策をほぼ決定してきたが、3.11以降は漂流状態が続いている。日本は原発に依存しない大幅削減計画を立案すべきである。
  - h. 世界の異常気象の頻発、スーパー台風の発生など
4. 科学者のコンセンサスレポートが米・中両政府を動かし始めた
5. ドーナツ経済の考え方  
エコイノベーションとソーシャルイノベーションの必要性  
エコプロダクツ展示会
6. エコデザインの4段階発展論とその実例 (15年前と現在を比較)。なかなか社会システムの変革につながるものは少ない。
7. 倫理的消費 (エシカル購入) の重要性

2020年の東京五輪をエシカル五輪へ

山本良一 東京大学 名誉教授 (2010年～)

東京都市大学環境学部 特任教授 (2011年4月～)

国際基督教大学 客員教授 (2011年4月～)

1946年茨城県水戸市生まれ。69年東京大学工学部冶金学科卒業。74年同工学系研究科大学院博士課程修了、工学博士。74年マックス・プランク金属研究所客員研究員。78年ブリティッシュコロンビア大学中間子研究施設μSR国際共同研究。81年東京大学工学部金属材料学科助教授。88年東京大学先端科学技術研究センター教授。92年東京大学生産技術研究所教授。専門は材料科学、持続可能製品開発論、エコデザイン学、サステナブル経営学。エコマテリアル研究会名誉会長、環境プランニング学会会長、LCA日本フォーラム会長、環境効率フォーラム会長、国際グリーン購入ネットワーク会長、「エコプロダクツ」展示会実行委員長 (1999年～)、北京大学・清華大学など中国の31の大学の客員教授等を歴任している。2010年3月末に東京大学を定年退職。

2011年4月より東京都市大学環境情報学部 (現環境学部) 特任教授及び国際基督教大学客員教授。

#### 【代表的著作】

1秒の世界 (責任編集・ダイヤモンド社)

環境技術革新の最前線 (日科技連)

気候変動+2°C (ダイヤモンド社)

サステナブル経済のビジョンと戦略 (日科技連)

温暖化地獄 (ダイヤモンド社)

みずものがたり (ダイヤモンド社)

いきものがたり (ダイヤモンド社)

温暖化地獄ver2 (ダイヤモンド社)

残された時間 (ダイヤモンド社)

地球温暖化への3つの選択－低炭素化・適応・気候改変のどれを選ぶか  
(生産性出版)

地球温暖化とグリーン経済 (生産性出版)

未来を拓くエシカル購入（環境新聞社）  
宇宙船地球号のグランドデザイン（生産性出版）